



YOUTH



高円宮杯3位の浦和レッズユース (106)

高円宮杯 3位で終了 準決勝で流経大柏に1 - 4

～第18回全日本ユース選手権準決勝

高円宮杯第18回全日本ユース(U-18)選手権準決勝に進出した浦和レッズユースは10月6日(土)国立競技場で流通経済大学付属柏高校と対戦。前半早々に2点を失い、後半一時は1点差に追いついたが、逆に2点を奪われ1 - 4で敗退した。高円宮杯3位は1997年以来的の最高位。なお流経大柏は決勝で広島ユースを破り初優勝した。

高円宮杯第18回全日本ユース(U-18)選手権準決勝

2007.10.6(土) 14:40 / 国立競技場

浦和レッズユース 1 前0 後1 VS 前2 後4 流通経済大学付属柏高校
観衆：4,456人

0 柴田大地	GK	GK	谷口健太	0
0 山地 翔	DF	DF	中富翔太	1
(0 池田涼司 / 45分)			天野健太	0
2 浜田水輝			秋山 心	1
0 菅井順平			比嘉祐介	0
			(86分 / 海老原慎吾 0)	
0 矢部雅明	MF	MF	中里崇宏	0
2 山田直輝			村瀬勇太	3
2 鈴木秀史			名雪遼平	0
(1 田仲智紀 / 72分)			(54分 / 田口泰士 1)	
0 永田拓也			大前元紀	5
0 高橋峻希				
0 原口元気	FW	FW	上條宏晃	0
(0 阪野豊史 / 88分)			保戸田春彦	0
2 林 容平			(54分 / 九場 光 1)	

9	SH	SH	12
9	GK	GK	10
2	CK	CK	4
20	直FK	直FK	20
0	間FK	間FK	4
1	PK	PK	0

鈴木 / 50分	得点	得点	8分 / 大前
			10分 / 大前
			56分 / 秋山
			66分 / 久場

警告	警告
浜田(反スポーツ的行為) / 55分	5分 / 名雪(反スポーツ的行為)
山田(反スポーツ的行為) / 88分	24分 / 保戸田(ラフプレー)
	58分 / 秋山(反スポーツ的行為)
	68分 / 比嘉(反スポーツ的行為)
	88分 / 秋山(反スポーツ的行為)

退場	退場
	88分 / 秋山(警告2回)

審判 / 主審：岡部拓人	第4：清水 茂
副審：武田光晴	マッチコミッショナー：山田 正
副審：岡 宏道	

リズムつかみ反撃も1点止まり

前半8分、自陣右深い位置からの相手スローインへの対処がルーズになり、不意を突かれて失点。続く10分、自陣右サイドから大きな弧を描くアーリークロスを放り込まれ、ファーサイドへのマークがずれてしまい失点。わずか10分で2点を追いかける苦しい状況に立たされた。その後、レッズユースはボールポゼッションを取って仕掛けるが、流経柏の速い寄せに思うように組み立てられず、前半を終えた。



後半5分、鈴木秀史がゴールを挙げ1 - 2とする



後半5分、阪野豊史の突破が相手のファウルを誘いPKを獲得する



後半34分、林容平のシュートは惜しくもGKに止められる



深い位置からゲームを組み立てた矢部雅明

後半は先手を取った。2分に原口元気が左サイドを突破し上げたクロスは得点にはならなかったが、3分後、再び原口が左サイドから中に切り込みクロス。林容平が頭で落とし、それを鈴木秀史がワンタッチで流し込んで1点差と追いつけた。

1点を追う緊迫した展開となったが、11分、ゴール前で2度バーに当たる混戦から押し込まれ、再び2点差となる。さらに21分、4点目を入れられた。レッズは25分にPKを得たが失敗。それでも集中力を切らさず、サイドに散らして早めのクロスを入れるなど、最後まで攻勢を仕掛けたが実らず、ユース年代日本一への挑戦が終わった。

味方を生かした中で自分を生かす選択肢が広がってきた大会だった

レッズユース監督 堀 孝史

相手は、力のあるチームだし、タフさもあるし、もちろん技術もあるので、こちらがそれに対応するのに精いっぱいだったということだと思います。ハーフタイムには、次の1点が大事ということ。前半のような立ち上がりではないようにしましょう。何よりも気持ちの部分で、相手の方が戦っているんじゃないか、もっと戦う気持ちを出そうという話をしました。

後半に関しては、自分たちの良い形が出せたと思います。ゲームの中で選手がどう攻めるのかというのを判断しています。最後はどうやっていこうかということ、選手たちがチャンスを作り上げたと思います。得点の所に関しては良いところを出せました。

大会を通じて、予選から準々決勝までの5試合は、味方を生かした中で自分を生かすということができ始めたと思います。チームとしてのまとまりを感じました。彼が出ていながら、こうやろうとか。そういう意味では、選択肢が広がったと思います。個々の部分でも1試合を通じて、メンタル的な部分を出せたと思います。技術的な部分というのは、すぐにはつくものではないので、これからということだと思います。

2年生、1年生がこういう大会を経験できたのは大きかったと思います。ただ3年生がこのチームでは非常に重要な仕事をしてきていました。そうしたパーソナリティを持っている選手が抜けてしまうので、今後はそうした人材も育てていかなければいけないと思っています。

全国ベスト4への軌跡

高円宮杯全日本ユース(U-18)

1次ラウンド～準々決勝

対高校3連戦負けなしで1次突破 ～グループリーグ

中盤のせめぎ合いに見ごたえがあった静岡学園戦 (99 / 駒場スタジアム)



1次ラウンドのグループリーグは9月9日(日)にスタート。浦和レッズユースは、グループリーグで静岡学園、青森山田、星稜高校サッカーの雄と対戦し、2勝1分けの負けなしだった。

初戦の静岡戦。互角の攻防から1点をリードされて迎えた後半18分、途中出場の原口元気、エリア内やや左からゴールし、追いつき引き分け。互いの持ち味を十二分に発揮する好ゲームとなった。

第2戦は青森山田と対戦。12分の高橋峻希の先制ゴールでリズムをつかむと、35分、CKに山地翔が頭で合わせて2-0。後半やや押し戻されたが、35分にPKをキャプテンの鈴木秀史が決め3-0として、試合を制した。

引き分け以上でグループリーグ突破が決まる第3戦。高校総体準優勝の星稜を相手に、レッズユースは、ゴールラッシュを見せた。前半8分の永田拓也のロングシュートによるゴールを皮切りに、常に主導権を保つ形で得点を重ね、6-1と大勝。1次ラウンドグループBを一位で通過。決勝トーナメントに進出した。



青森山田戦の前半12分、高橋峻希が先制ゴール (915 / 増スタ第2G)



ゴールラッシュの星稜戦、後半19分にゴールを決めた田仲智紀が感無量の表情 (917 / 増スタ第2G)

1次ラウンド 第1戦	
2007.9.9(日) / さいたま市駒場スタジアム	
浦和レッズユース	1 前0 後1 VS 前0 後1 静岡学園高校
GK	柴田大地
DF	山地 翔 浜田水輝 菅井順平
MF	山田直輝 鈴木秀史 (田仲智紀) 永田拓也 高橋峻希 池田涼司
FW	宮川貴司 (原口元気) 林 容平 (岸幸太郎)
得点者	原口元気 (63分)

1次ラウンド 第2戦	
2007.9.15(土) / 埼玉スタジアム第2グラウンド	
青森山田高校	0 前0 後0 VS 前2 後1 浦和レッズユース
GK	柴田大地
DF	山地 翔 永田拓也 菅井順平
MF	矢部雅明 鈴木秀史 田仲智紀 高橋峻希 (阪野豊史) 池田涼司 (丸山和男)
FW	林 容平 (岸幸太郎) 原口元気
得点者	高橋峻希 (12分) 山地 翔 (35分) 鈴木秀史 (60分)

1次ラウンド 第3戦	
2007.9.17(月) / 埼玉スタジアム第2グラウンド	
星稜高校	1 前1 後0 VS 前2 後4 浦和レッズユース
GK	柴田大地
DF	丸山和男 (和田祐樹) 浜田水輝 菅井順平
MF	矢部雅明 山田直輝 永田拓也 田仲智紀 (鈴木秀史) 石沢哲也 (宮川貴司)
FW	原口元気 阪野豊史
得点者	永田拓也 (8分) 原口元気 (18分) 山田直輝 (53分) 田仲智紀 (64分) 宮川貴司 (70分) 原口元気 (82分)

数的優位しっかり生かして追加点

～1回戦 vs 札幌ユース



札幌ユース戦の後半11分、駄目押しゴールを挙げた阪野豊史(左) (922 / 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場)

9月22日(土)、30度を超える暑さの中、熊谷スポーツ文化公園陸上競技場で行われた決勝トーナメント1回戦。レッズユースはコンサドーレ札幌ユースU-18と対戦した。レッズは、前半11分に原口元気の鮮やかなゴールで先制したが、その後、追いつかれて1-1となる。せめぎ合いで迎えた後半7分、札幌の攻撃の起点となっていた9番がこの日2枚目のイエローカードで退場。レッズが数的優位に立ち、その1分後にキャプテン鈴木が2点目。さらに11分に阪野豊史が3点目を決めるなどたまたま、大勢を決した。その後、リードした心理的な余裕と暑さの疲労から、徐々にプレスが甘くなり、押される場面もあったが、最終ラインで食い止めて勝利。ベスト8へ進出した。

決勝トーナメント1回戦	
2007.9.22(土) / 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場	
浦和レッズユース	3 前1 後2 VS 前1 後0 コンサドーレ札幌ユース
GK	柴田大地
DF	丸山和男 (山地 翔) 浜田水輝 菅井順平
MF	矢部雅明 鈴木秀史 永田拓也 高橋峻希
FW	林 容平 (宮川貴司) 原口元気 (池田涼司) 阪野豊史
得点者	原口元気 (11分) 鈴木秀史 (53分) 阪野豊史 (56分)

高校総体王者を延長で突き放す

～準々決勝 vs 市立船橋高校

9月24日(月)、準々決勝の相手は、今年の高校総体王者、市立船橋高校。前半、レッズユースは相手の激しいチャージをシンプルなパス交換と効果的なサイドチェンジでかわし、主導権を握った。何度か相手ゴールへ迫ると、先制は34分。右サイドを突破した高橋峻希が折り返し、エリア中央の鈴木秀史が頭で合わせて流し込んだ。しかし優勢に試合を進めるも、61分、PKを与え同点とされる。その後は、両チーム決め手を欠いて90分を終了。試合は10分ハーフの延長へ突入した。レッズは延長に入ると、原口元気、阪野豊史がゴールを決めて粘る相手を突き放し、110分の死闘を制した。高円宮杯ベスト4進出は1997年以来。



市立船橋戦の延長前半5分、原口元気のゴールが決まり2-1 (924 / 西が丘サッカー場)

準々決勝	
2007.9.24(月) / 西が丘サッカー場	
浦和レッズユース	3 前1 後0 VS 前1 後0 市立船橋高校
GK	柴田大地
DF	浜田水輝 菅井順平 和田祐樹 (山地 翔)
MF	矢部雅明 山田直輝 鈴木秀史 (阪野豊史) 永田拓也 高橋峻希
FW	林 容平 原口元気 (宮川貴司)
得点者	鈴木秀史 (34分) 原口元気 (95分) 阪野豊史 (100分)